

サンライズキッズインターナショナルスクール 保護者のみなさまへのお知らせ

これまで、サンライズキッズインターナショナルスクールでは、複数の保護者のみなさまから「卒園後の英語小学校の受け皿がない」というご相談をいただいております。この件に関して進捗がございましたので、ご報告申し上げます。

大勢の卒園生が出る2016年4月に新たな私立小学校（文科省が認める一条校）を開校することは、法制面、規制面、資金面でのハードルが非常に高く、ほとんど不可能な状況でした。

フリースクールでの開校は不可能ではありませんが、正規の小学校ではないため、国立大学附属中学校を受験できないなどのデメリットがあるほか、保護者のみなさまの不安も強いように思われました。

ここ数ヶ月間、さまざまなルートを通じ、手を尽くした結果、特区制度を利用し、株式会社が運営する小学校の開校が現実的な可能性として浮上してきました。今後数ヶ月をかけて、新会社を設立し、カリキュラムを詰め、学校用地を探し（＝授業料に反映されるため、横浜中心部における用地確保が懸案となっております）、教員を確保し、特区の申請手続きを進め、できるだけ早い時期に生徒募集を開始できるよう、努力を続けてまいります。

われわれは、国語に力を入れつつも、多くの授業を英語でおこない、プログラミングなど理数系にも力を入れる「未来志向のバイリンガル小学校」を目指しております。また、充実したアフタースクールを設置し、夕食の提供サービス、地域社会との連携なども予定しております。さらには、中学受験の可能性も考慮し、進学塾との提携交渉を始めております。

この小学校計画は、保護者有志、保護者の一人である竹内薫（サイエンス作家）、茂木健一郎（脳科学者）、鈴木光司（作家）らが発起人となり、サンライズキッズインターナショナルスクール代表の佐伯猛と緊密に連携を取りながら進めております。アドバイザーとして住田裕子（弁護士）、黒澤弘光（元筑波大学附属高等学校国語科教諭）、また、大竹真一郎（医師）の協力が得られる予定です。（敬称略）

来年開校という厳しいタイムリミットのため、計画の立案から、関連各省庁・自治体への陳情まで、きわめて迅速に行動する必要に迫られたため、これまで、保護者のみなさまと情報共有ができなかったことをお詫び申し上げます。

まだ、来年4月の開校が確定したわけではなく、さまざまなハードルを越える必要がありますが、今後は、大きな進捗があり次第、保護者のみなさまにお知らせする所存です。急ではございますが、9月16日の保護者会（クルージング）前にお時間を設定させていただきましたので、ご参加いただければと思います。なお、こちらの日程にご参加いただけない保護者様におきましても、別日に説明会の席を設ける予定です。よろしく願いいたします。

◇小学校開校のお知らせ

- ・日時：9月16日（水）10時～
- ・場所：レストラン・ビアンカ

<http://www.yokohama-bianca.jp/access/>

（桜木町駅より徒歩5分）

2015年9月4日

竹内薫